

8月号

第307号

いっしん

平成22年(2010年)

よい時をおかけと
喜ぶ信心でなくては
悪い時に喜ばない
のであります
甘木親教会
初代親先生の教え

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市加治木町朝日町130 発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-62-2895
Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp ホームページ http://www.7a.biglobe.ne.jp/~konkokajiki

甘木親教会二代教会長 安武文雄大人 十五年祭 平成22年12月23日(祝)

甘木親教会初代教会長 安武松太郎大人 六十年祭 平成23年2月4日(金)

加治木教会布教六十年記念大祭
平成二十三年五月二十九日(日)



「神人の道」を開く

連合会

信奉者研修会

との講話をもとに

梅雨明けの間近さが感じられる
七月十一日(日)、串木野教会におい
て鹿児島地方教会連合会主催の「信
奉者研修会」が開催されました。

講師に宮崎北教会長 松井真佐雄
先生をお迎えして、午前中に「神人
の道」を開く」という講題で、「そ
れその生活に神が生まれるように
!というサブテーマのもとに講話を
聴かせていただき、午後は全体懇談
で、参加者からは質問や感想の発表
がありました。

加治木教会からは四名が参加し、
鹿児島地方教会連合会の各教会より
六十五名の参加者がありました。

*

講話の最初の方で、「私たちの信心
はおかけを頂くことだけを信心の目
的にしていないでしょうか。おかけ
を頂くだけでよいのでしょうか。あ
いよかけよ」とは、私たちが生活の



かが問題であり、伝える信心というより伝わる信心となるよう取り組ませていただいているところです。(要旨)

現場のその場その場で神意を伺うようにして、自分の都合・考え・常識を離れて、神様がお喜びになられ助かられる行動を取って行くこと、神様と一緒に生きる生き方で、『神人の道』とは神様に近づく稽古をすることと思えます」とお話になられてから、「私が9才のとき高熱と目まいが続き、数人の医師から見放される中に、父(佐藤昇)の、お礼をもとにした信心により奇跡的に快復のおかげを蒙り、そのことがきっかけとなり、親教会(芸備教会)の親先生はじめ父の教導のもと、おかげを受けるだけでなく、神様が喜ばれ助かられる、お道の教師へとならさせていただきましたこととなりました。しかし、9才のときに命を助けられた喜びが、今日、私の生活の現場にどう現されている



と、「ご自身の経験談をもとに、神様が助かられる信心について懇切にお話になられました。

参加者からは「立教一五〇年以後、信奉者それぞれが、いかに信心生活に取り組むべきか課題を提起していただいた」さらに「感銘深い内容のお話だった」という声がありました。

加治木教会の故政美親先生のお母様クラ様は、三十三才のご大患以後、「自己中心的な信心」から、「親神様の御立場に立った信心」に変わって行かれてあります。

この「親神様の御立場に立った信心」こそ、松井真佐雄先生がお話になられた「神様がお喜びになられ助かられる信心」であり、「私の頂く安武松太郎師」(矢野政美著 加治木教会出版物)につづられています。クラ様のご信心の日常をたどってみますと、まさに「あいよかけよ」の信心生活であり、「神人の道」を開くことに努められた一生であったといえます。

加治木教会にご縁のある方は、もう一度「私の頂く安武松太郎師」をひも解いてみましょう。



平成二十二年三月十一日（会場 名城教会）
名古屋地方教会連合会

「女性の集い」での感話

青木トミ子氏



皆さんこんにちは、私は名城教会にお世話になっております青木トミ子です。よろしくお願ひ致します。先生（名城教会長 河合先生）から、「十分くらいでいいのでお話しを」と言っていたので、「私でいいのでしようか」とお尋ねしました。

去年十一月二十三日の御大祭で、講師の児玉先生から「日田教会の信者さんは、お話しを頼まれたら、ありがとうございます」と言っただけで断らずにされます」と聞かせていただきましたので、それを出し、すくにご返事をさせていただいたようなことでした。

名城教会には、先輩のご信者さんがたくさんおられ、僭越で申し訳ございませんがおかげを蒙らせていただきます。

平成十九年のことです。私たちが参拝させていただいていました佐屋教会が閉鎖されることになりました。親教会の鹿児島県にある加治木教会と合併されることになりまして、一年間お取次は加治木教会まで電話でさせていただくことになりました。その間に、緑内障で両方の眼を手術させていただきましたが、お取次はいつも電話でさせていただきました。

金光様は「すべてを大切に」と仰つてあるのに、電話代が高くなるのが気になって、自分の力でどうにもならないことだけをお話し申し上げ、お取次ではお願ひ事だけをより分けお話し上げているようなことでした。それではおかげを頂けませんよね。

加治木の親先生は一年間何度も電話で「名城教会にお参りさせてい

ただきませんか、佐屋教会が今までいろんなこととお世話になつていたので。そうすれば遠ざかりかけている御本部へもお礼参拝がさせていただきます。名城教会に一年に一回でも御大祭に参拝させていただきますか」と言っただけで下さつていました。

私は四年前に自転車で転んで股関節複雑骨折で入院し、その四日目に手術をすることになりました。

電話でお取次をさせていただいて、手術が終わるまで 金光様、金光様と祈らせていただいていた。手術中、出血がひどく貧血を起こしてしまいましたので二日間輸血をしていただきました。

病院の先生からは「寝たきりになるかも知れませんが」と言われていたのですが、その後おかげを頂き、杖をついて歩くことができるようにならせていただきました。

ケガのため、予定より一年遅れましたが、お取次を頂いて眼の手術をさせていただきます。

左眼の手術の時には左の靴下の

だいたこのお礼申し上げ、これから名城教会に参拝させていただくことができまますようにとお願いを申し上げます。

金光様のお言葉は緊張のあまり、聞き取ることができませんでしたが、後で先生にお尋ねしますと、「ようお参りでした、けっこうでした」と仰せられたそうです。

金光様のお言葉を直接頂くのは、長年の信心で初めてでしたので、大切にさせていただきたいと思えます。

名城教会のご信者さん方は新幹線での日帰り参拝でしたが、私の足が不自由なために私共は車に乗せていただき、先生は一緒に行動して下さり、いつも優しい言葉をかけて下さり、嬉しく有難い御本部となりました。

その後、心新たに「名城教会へ、日を決めて月参りのおかげを蒙らせていただき」と願いを立てて始めさせていただきました。

最初のうちは、参拝させていただくその日に限って雨模様になり、神様のお試しだろうか とさえ思わさ

れました。

この頃は、名城教会の河合先生がゆっくりと御用しておられる日にお参りしていました。それは、ジックリとお取次を頂きみ教えを聴かせていただかねばと思つたからでした。しかし、後々思つところがあり、名城教会のご信者さん方がおられる月例祭に参拝させていただくようになり、皆さんから名城教会での信徒の御用なども教えていただくことができました。



平成21年4月 御本部御大祭にて
左端 青木宗一氏、右端トミ子氏

次に「愛西集会」のことについてお話させていただきます。

今月から三ヶ月に一度と決めていただき、名城教会の河合先生にお出でいただき、信心友達や、近所の親しい方々に声をかけ七・八名で、自宅で開かせていただいています。

集会を始めて、この三月で九回目となります。

この集会ができる前に、名城教会の河合先生と奥様の節美先生がご相談されて、名城教会までは遠いので、教会までお参りできない方がご信心を続けさせていただくことができ、助かっておかげを蒙ることができるようになり、と願われて、遠いところから御用でお忙しい中をお出で下さることになりました。

京都に長男家族が、愛知県刈谷に次男家族が住んでおります。名城教会に初参拝させていただきましたことから、この息子達家族、子ども孫たちへ、信心が伝わることをお願いさせていただいております。

平成二十年四月、名城教会に参拝させていただくようになって初めての御大祭に、私共夫婦と長男の三人で参拝させていただくことができたことはとても有難いことでした。

名城教会では、ご信者さん方みなさんが力を合わせていると御用をされてありましたので、私たちも何かできる御用をさせていただきたいと思いました。今では、月二回の月例祭に参拝のおかげを蒙らせていただいております。だんだんと御用もおかけ頂きたいと思っております。私たちが名城教会にお参りさせていただくようになりまして三年になります。学ばせていただいたことは、お取次の大切さです。

息子たち二家族共にお参りさせていたただいてお世話になっていますが、糸にたとえるともつれてほどけなくなつた難問題を先生にお取次させていたただいておかげを蒙らせていただいております。

先生は息子達に「どんな小さなことでもお取次頂いて行くといいですよ」と言つて下さいます。

今はお取次頂くことができるようになり、お礼参拝もできるようになりました。

私の家はお祭をお仕えさせていただく前になると難儀なことが起こってきますが、おかげもたくさん頂いております。難をみかげにさせていただきたいと思っております。

今は教会の御祈念に合わせて朝六時に御祈念をさせていただいております。

私たちの願いは、三家族が信心を続けさせていただくことができることです。

次男の嫁が教会に参拝させていただくことができるようになったことがとても嬉しく思えてなりません。私自身が不自由な身体になって初めて「神様を杖に」ということをわからせていただきました。私は子ども達にも私のようになる前に、神様と向き合うことでおかけをいただけるということを伝えたい、わかってもらいたいと願っています。

その後、毎年一月の御本部への年

頭参拝と御大祭の参拝をおかけ頂いております。最初の参拝では、正座ができず椅子に座ることしかできませんでした。二年目からは正座をしてお礼申すことができるようにならせていただきました。

「愛西集会」では、午前中に御祈念を頂き、先生のお話を聞かせていただいております。午後からは参加者の方それぞれがお話しをされ、先生に聞いていただいているようなこととです。そのため皆さん元気な心になつて帰られます。

三年目になつた「愛西集会」が、皆さんに喜んでいただけるような会にならせていただくことをお願いさせていたただいております。

私の日記のようなお話しをお聴きいただき有難うございました。

(おわり)



改まって行きましょう

「一家の内に一人、ほんとうに信心な者があれば一家はみな信心になる。一村に一軒、ほんとうに信心な家があれば、一村みんなおかげを受けるようになる」という教祖様のみ教えがありますが、家の中でも、地域社会でも、職場でも、仲間内でも「ほんとうの信心」を現して行きたいものです。

自分だけの助かり、自分の家だけの助かりを願うだけでなく、人のことを真実に願うことができるようになり、親神様がお喜びになられ「安心されるような信心」にらせていただきたいと思います。

安武松太郎師(甘木教会初代)が矢野クラ刀自に教えられた「信心の中身をよく探ってみますと、次のような改まり方」印で表現(もしくは信心の進み方があるようです)自己中心な信心

親神様の御立場に立った信心
親神様を(おびやかし)道具に使う信心

(親神様が喜ばれ安心される信心)
おかげを信じる信心

(親神様の深い親心・慈愛を信ずる信心)
そのよつに改まるまでには、しっかりとみ教えを聴き、参拝・御用・お導きに努め、どんな大変なことも修行と受けて信心を熟

烈に進めてあります。

そうして、親神様・安武親先生のご信頼を受けられるだけの「根の張った」または「地の肥えた」信心となつて、さらには人も羨むようなおかげを受けることができるようになって行かれました。

そこでは、家族・親族も村の人々も真に助け導き働きを現されておられます。是非とも見習い、その信心を自分のものにするよう研究して行きたいものです。(A)

あしあと

加治木教会行事記録

7月

- 1(木) 報徳月例祭 10時半
- 4(日) 多良木教会 祈願祭
- 6(火) 8(木) 全国大会実行委員会
- 9(金) 斎掃 御用 10時
- 10(土) 生神光 月例祭 10時半
- 11(日) 大神 月例祭 10時半
- 11(日) (連) 信奉者研修会
- 15(木) 琴練習 13時半
- 16(金) 甘木親教会 教師研修会
- 17(土) 甘木親教会 祈願祭
- 21(水) 斎掃 御用 10時
- 22(木) 月例祭 共励会 13時半
- " リーダーM(ミテイング) 20時
- 27(火) ひこへハンド練習 19時半
- 30(金) 琴練習 15時
- 31(土) 祈願祭前御用奉仕

ご霊神様のおまじ

八月

信國禮子之霊神	昭和20・08・03
中島シマ之霊神	昭和25・08・06
西本八子之霊神	平成11・08・07
中村宗吉之霊神	大正11・08・10
大重 久之霊神	昭和41・08・18
星原孝彦之霊神	昭和55・08・22
星原阿称子之霊神	平成16・08・26
上田八子之霊神	平成16・08・26
福元子三之霊神	昭和28・08・28
小坂篤夫之霊神	昭和58・08・28
柳園八子之霊神	平成15・08・29
榎原ヤオ之霊神	昭和40・08・30
中村愛加之霊神	平成03・08

「先祖のご霊神様の、現世・幽冥(かくりよ)でのお働きあつての今日の私たちであります。立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げます。教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備しています。

※教会 行事予定表やお知らせなどのQRコードです。ご利用下さい。

行事予定表



教会ブログ『あしあと』



八月四日(水)〜七(土) 出発三日

御本部年代別キャンプ

対象、中高生

八月七日(土)〜九日(月)

少年少女全国大会 参拝

出発：七日午後九時 帰着：九日午後七時半頃

大人：一九〇〇円 中高生：一六〇〇円

旅費：小人：二〇〇〇円 幼児：五〇〇円

八月十日 月例祭

八月十二日に変更

少年少女全国大会
参拝のため

八月十八日〜二十日

少年少女会連合本部
遠征富士登山
松田信也君参加

八月二十二日(土)十三時半より

加治木教会 月例祭に併せて

教祖御生誕祭 奉行

祭典後・教話・共励会・茶話会

八月二十九日(日)

十時〜十五時

鹿児島地方教会連合会

※弁当申込
四〇〇円

女性の集い

宝山ホール 3F第4会議室にて

講師 小林教会 中村美智子先生

教会行事

8月

1(日) 加治木教会 祈願祭 11時

3(火) 御本部年代別キャンプ 出発

4(水)〜7(土) 御本部年代別キャンプ

7(土) (少年少女全国大会 出発)

8(日) 少年少女全国大会

9(月) 少年少女全国大会 帰着

月例祭日、変更 少年少女全国大会のため

11(水) 斎掃御用 10時

12(木) 月例祭 10時半

星原家霊祭

18(水) 23(月) (少)遠征富士登山

16(月) 18(水) なさふキャンプ

19(木) 20(金) 甘木 教師若婦人会

21(土) 斎掃御用 10時

22(日) 月例祭・共励会 13時半

青年会リーグゲーム(兼 青年会) 20時

26(木) 鹿児島地連 教師会

29(日) 女性の集い (宝山ホール)

31(火) 斎掃御用 10時

若婦人会 (未定)

少年少女会 青年会 若婦人会は、都合により日程を
変更することがあります。随時連絡しますのでお気をつ
け下さい。

9月

1(水) 報徳月例祭 10時半

4(土)〜5(日) 甘木親教会 信徒の集い

6(月)〜7(火) 少年少女会 理事会

9(木) 斎掃御用 10時

10(金) 月例祭 10時半

21(祝) 斎掃御用 10時

22(休) 月例祭・共励会 13時半

青年会リーグゲーム(兼 青年会) 20時

23(祝) 秋季霊祭 10時半

25(土) 26(日) 連青年のひろば

30(木) 斎掃御用 10時

(未定) 少年少女会 10時半

若婦人会 (未定)

鹿児島地方教会連合会

ひとつとべバンド

みんなで参加しましょう!

※月一回程度、練習日随時連絡。